

# ●●●2023年4月～6月期 栃木県中小企業景況調査(176回)●●●

## 【栃木県DI指数天気図】

**今期(県内全体)の業況**

 **DI値**  
**-9.7**  
※全国 -10.8

## 業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(1-3月期)より6.8ポイント改善し-9.7ポイントとなった。業種別に見ると製造業は1.4ポイントの悪化となったものの、その他の建設・小売・サービス業では改善が見られた。

仕入単価は、製造業で88.9ポイント、建設業で80.0ポイント、小売業で72.5ポイント、サービス業で81.4ポイントと各業種で高止まりが続いている、経営上の問題点としても各業種の1位にあげられており、今後も引き続き高止まりが続く見込みである。

来期は、建設業が13.9ポイント、サービス業が2.6ポイントの悪化の見込みであるが、製造業では24.3ポイントと引き続き大幅な改善が見られ、小売業でも6.2ポイントの改善が見込まれており、県内全体の業況も5.5ポイントの改善となる見込みである。

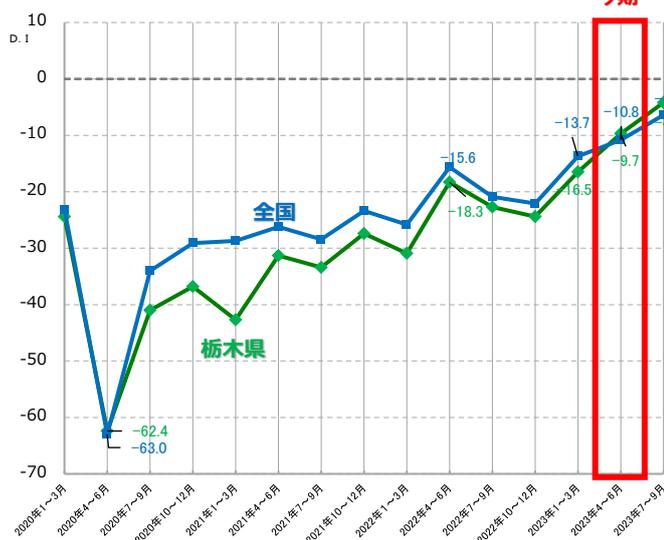
～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

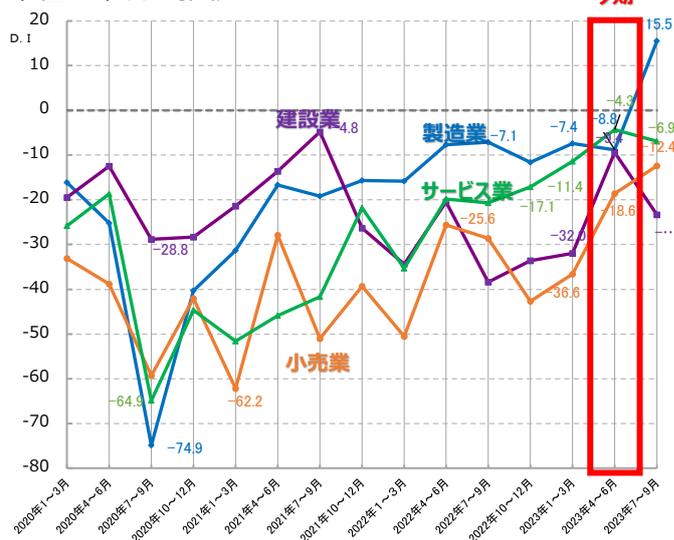
業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業	DI値	-8.8	6.7	88.9	-20.0	-16.6	15.5 (↑)
	<b>業況：前期から1.4ポイント悪化も、来期は売上額が大幅な改善となる見込み</b>						
建設業	DI値	-9.4	10.0	80.0	5.0	15.0	-23.3 (↓)
	<b>業況：前期から22.6ポイント改善、来期は13.9ポイント悪化も仕入単価は改善傾向</b>						
小売業	DI値	-18.6	9.7	72.5	-24.4	-26.8	-12.4 (↗)
	<b>業況：前期から18.0ポイント改善、来期も6.2ポイント改善の見込み</b>						
サービス業	DI値	-4.3	20.4	81.4	-17.0	-3.6	-6.9 (→)
	<b>業況：前期から7.1ポイント改善、来期は2.6ポイント悪化も売上と仕入単価は改善となる見込み</b>						

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

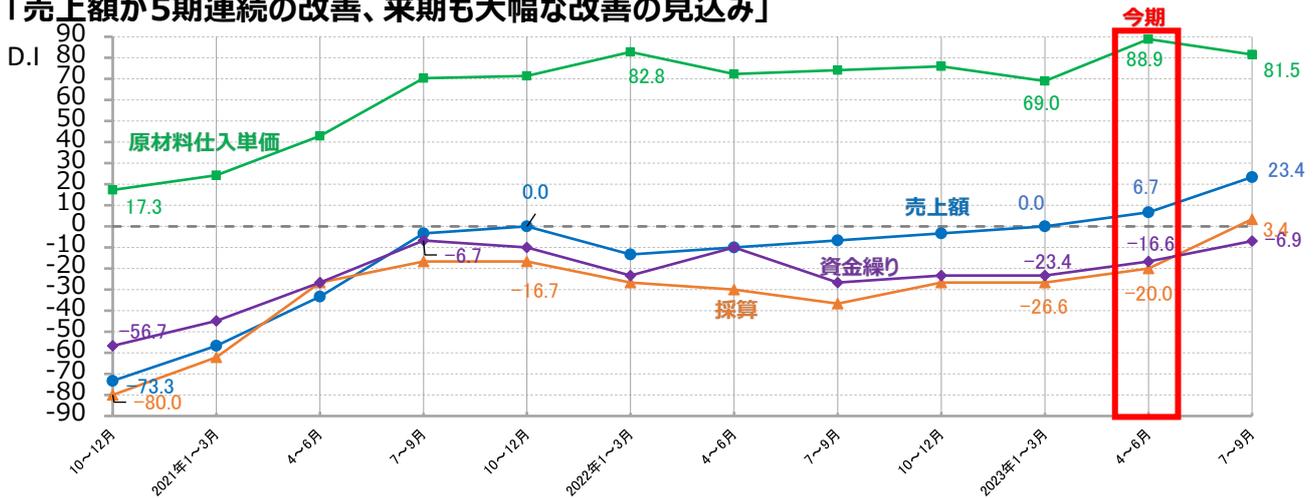


業種別業況の推移



製造業

「売上額が5期連続の改善、来期も大幅な改善の見込み」

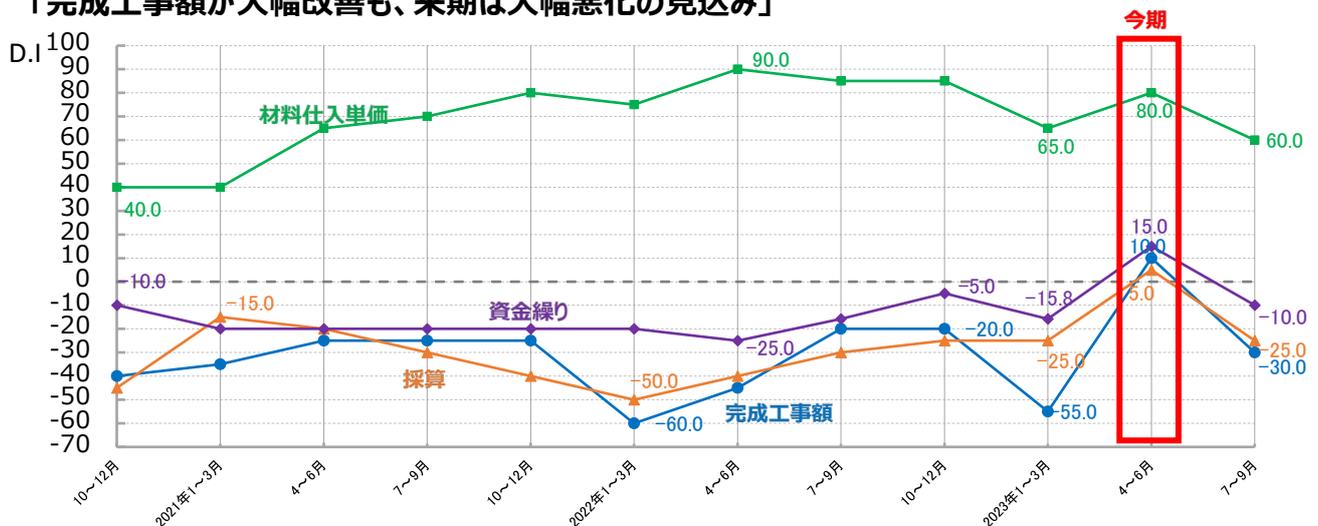


回復傾向にあった「売上額」は今期も6.7ポイント(0.0→6.7)の改善となり、5期連続の改善となった。来期は16.7ポイント(6.7→23.4)の大幅改善の見込みである。高止まりが続く「原材料仕入単価」は、更に19.9ポイント(69.0→88.9)の悪化となった。来期は7.4ポイントの改善(88.9→81.5)見込みとなるものの、高止まりは依然として続く見込みである。「資金繰り」は小幅な改善となり、来期は9.7ポイント(-16.6→-6.9)の改善となる見込みである。回復傾向にあった「採算」は今期も改善(-26.6→-20.0)となり、来期は16.6ポイント(-20.0→3.4)の大幅な改善となる見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位：原材料価格の上昇(31.6%) 第2位：需要の停滞(15.2%)  
 第3位：原材料費・人件費以外の経費の増加(11.4%) 第4位：従業員の確保難(7.6%)

建設業

「完成工事額が大幅改善も、来期は大幅悪化の見込み」

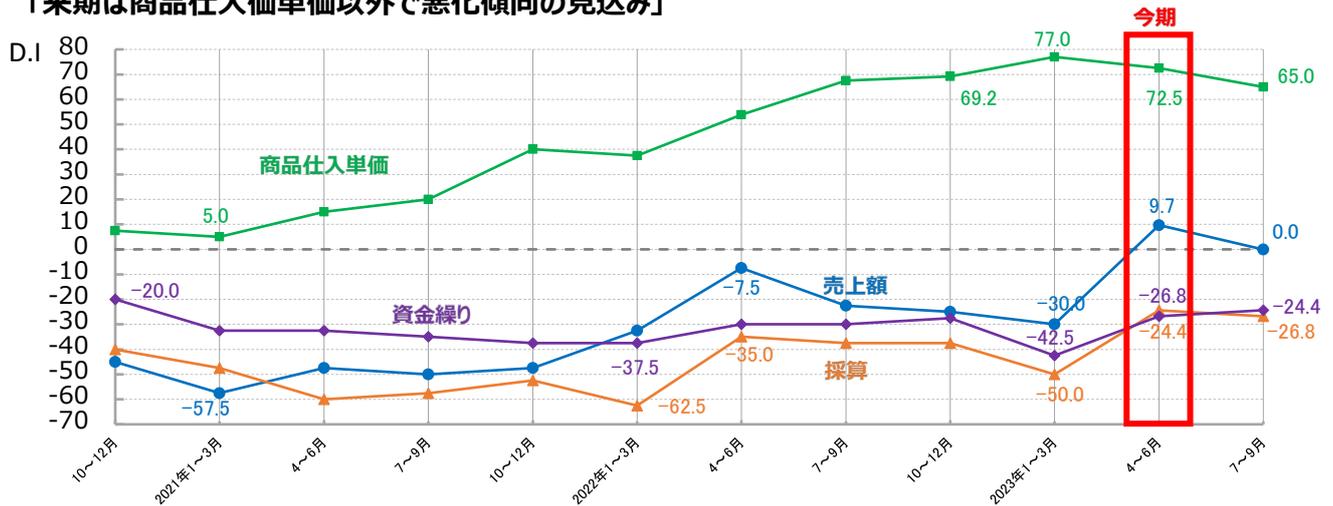


「完成工事額」は、65.0ポイント(-55.0→10.0)の大幅改善となったが、次期は再び40.0ポイント(10.0→-30.0)の大幅悪化となる見込みであり、不安定な状態が続く。「資金繰り」は「完成工事額」に比例する形で増減し、今期は30.8ポイント(-15.8→15.0)と大幅な改善となったものの、来期は25.0ポイント(15.0→-10.0)と大幅に悪化する見込みである。「採算」についても同様の傾向が見られ今期は30.0ポイント(-25.0→5.0)と大幅な改善となったが、来期は30.0ポイント(5.0→-25.0)と大幅に悪化する見込みである。「材料仕入単価」は、今期15.0ポイント(65.0→80.0)の悪化となったが、次期は20.0ポイント(80.0→60.0)の大幅改善の見込みである。

- 【経営上の問題点】 第1位：材料価格の上昇(41.2%) 第2位：従業員の確保難(20.6%)  
 第3位：材料費・人件費以外の経費の増加(11.8%) 第4位：官公需要の停滞(5.9%)

## 小売業

### 「来期は商品仕入価単価以外で悪化傾向の見込み」



「商品仕入単価」は、4.5ポイント（77.0→72.5）の改善となった。来期も引き続き、7.5ポイント（72.5→65.0）と改善が見込まれるものの、依然として高止まりが続く見込みである。

「売上額」は39.7ポイント（-30.0→9.7）「採算」は25.6ポイント（-50.0→-24.4）「資金繰り」は15.7ポイント（-42.5→-26.8）改善したが、来期は「売上額」が9.7ポイント（9.7→0.0）と「採算」が2.4ポイント（-24.4→-26.8）悪化の見込みである。「資金繰り」は2.4ポイント（-26.8→-24.4）の改善となる見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：仕入単価の上昇（29.5%）

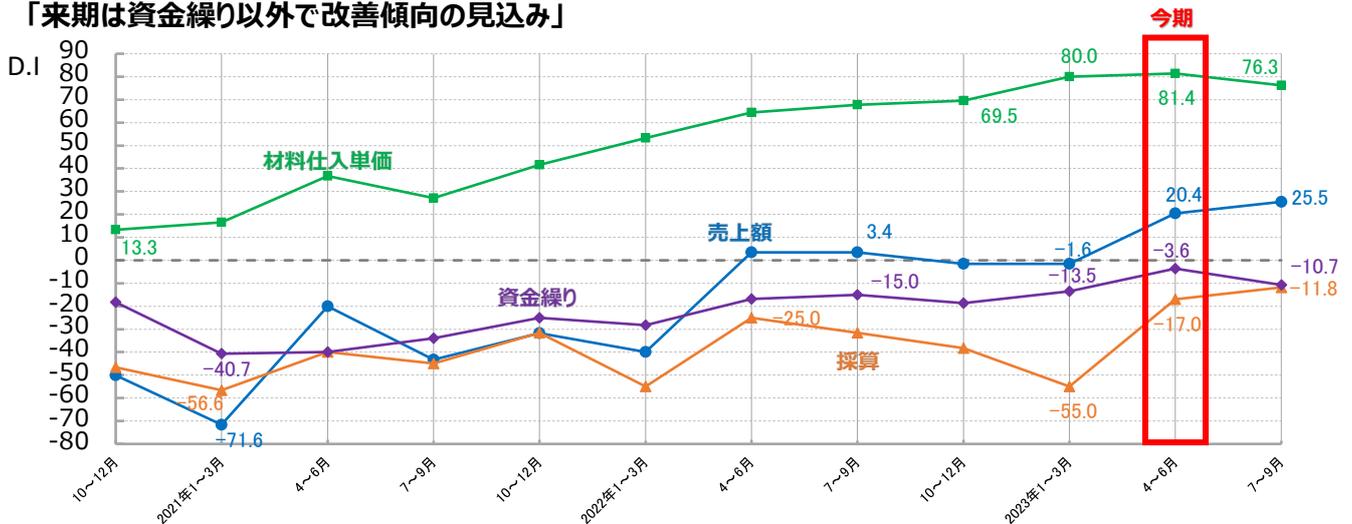
第2位：消費者ニーズの変化への対応（13.1%）

第3位：需要の停滞（11.5%）

第4位：大・中型店の進出による競争の激化（9.8%）

## サービス業

### 「来期は資金繰り以外で改善傾向の見込み」



「採算」は38.0ポイント（-55.0→-17.0）の大幅な改善となり、来期も5.2ポイント（-17.0→-11.8）の改善が見込まれる。同様に「売上額」も、22.0ポイント（-1.6→20.4）と大幅に改善し、来期も5.1ポイント（20.4→25.5）の改善が見込まれる。

「資金繰り」は9.9ポイント（-13.5→-3.6）の改善となったが、来期は7.1ポイント（-3.6→-10.7）の悪化が見込まれる。上昇傾向にある「材料等仕入単価」は、1.4ポイント（80.0→81.4）と小幅ではあるが悪化となった。来期は5.1ポイント（81.4→76.3）改善するも、高止まりが続く見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇（36.3%）

第2位：店舗施設の狭隘・老朽化（11.0%）

第3位：利用者ニーズの変化への対応（8.8%）

第4位：人件費以外の経費の増加（8.8%）

## 調査要領

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・足尾町・益子町・茂木町  
市貝町・壬生町・藤岡町・喜連川・那須塩原市

### ○調査時点

2023年6月2日

### ○調査対象期間

2023年4月～6月期の実績及び、2023年7月～9月期の見通しについて調査

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

### ○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.0%
建設業	20	13.3%
小売業	41	27.3%
サービス業	59	39.3%
合計	150	100.0%

### ※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

次の100年も  
ここに商工会

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875